

# 社協 鵜一地区だより

～世代を超えて支え合いができる町作り～

第 48 号

2018年(平成30年)5月1日

編集・発行  
鵜沼第一地区社協

平成29年度も、無事終了できました。鵜沼第一地区の社協員の皆様には、今年度の活動及び運営に格段のご支援とご協力をいただきました。ありがとうございます。

昨年4月、大役を仰せつかりまして手探り状態で始まりましたが、総会、近隣ケアグループの研修会、セラピー犬と親子ふれあい交流会、黄金を祝う会(お年寄りを囲む会)、福祉座談会(来年度以降の黄金を祝う会開催と地区内の福祉サービス向上を考える会)、福祉講演会(各地区での支え合い活動の勉強会)等、今年度企画・実施した行事を、皆様方のご支援、ご協力のもとで無事終えることが出来ました。ことに、大変感謝いたします。



鵜沼第一地区社会福祉協議会  
29年度会長 加藤 久夫

「一年を振り返って」

「世代を超えて支え合いができる町作り」のスロガンのもと、年代・性別の垣根のない関係で地域の輪(和)が広まり、深まりまして、互助が自然体で発展していくことを願っております。

最後に、鵜沼第一地区の社協福祉活動を支えていただきました事務方の皆様、民生委員児童委員、近隣ケアグループの皆様、一年間ご協力いただきました。ありがとうございました。



## 平成29年度 鵜沼第一地区社会福祉協議会 年間事業報告

月	日	事業内容
平成29年		
4	5	区長会議において理事会・総会の日程相談
	7	鵜沼中学校に挨拶
	10	友愛訪問の対象者及び暑中見舞いハガキ郵送対象者、調査依頼
	11	鵜沼第一小学校に挨拶
	11	第1回委員会
	26	平成29年度「横断旗」配布
5	1	鵜一地区社協だより、第46号発行
	8	第1回鵜一地区社協理事会(鵜沼福祉センター)
	13	鵜一地区社協総会及び会費趣旨説明会 10時～(鵜沼福祉センター) 66名参加
	16	親子ふれあい交流会開催に向け、マロンセラピードッグ協会と打ち合わせ
	20	市社協主催「近隣ケアグループ研修会」(市民会館)
6	4	鵜一地区社協主催「近隣ケアグループ研修会」86名参加
	6	第2回委員会(黄金を祝う会、催し物検討)
	13	小学校に暑中見舞いハガキを作成依頼(452枚)
	13	小学校に7月23日開催「セラピー犬と親子ふれあい事業」のチラシを、配布依頼
	13	民生委員児童委員により、友愛訪問開始(寝たきり・認知症の方々、26名)
7	23	セラピー犬と親子ふれあい交流会(鵜一小けやきの部屋)107名参加、セラピー犬22匹
8	4	民生委員児童委員へ、黄金を祝う会への招待者調査依頼並びに該当者リスト提示。
	10	鵜一地区社協だより、編集会議
	25	鵜一地区社協だより原稿を市社協へ提出
9	6	区長へ「合同会議」開催案内、「地域での支え合い活動」についての学習会開催に向け相談
	19	黄金を祝う会に向けて稲田園と準備打ち合わせ
	26	第3回委員会

月	日	事業内容
10	1	鵜一地区社協だより、第47号発行
	4	第2回鵜一地区社協理事会(ジョイガーデン)
	5	年賀状送付対象者名簿の提出依頼(民生委員児童委員)
	22	「黄金を祝う会」に向けて合同会議開催
	27	第1回福祉座談会「ふれあいバス懇談会」15名参加
	31	第67回県社会福祉協議会大会に参加
11	4	H29年度「黄金を祝う会」開催「稲田園」招待者96名・役員26名・市社協2名、計124名参加
	11	ういちおもしろ体験講座(紙飛行機、バルーンを実施)
	12	第2回福祉座談会(黄金を祝う会の反省会)18名参加
	15	第50回各務原市社会福祉大会
	28	小学校に年賀ハガキの作成を依頼(450枚)
	29	市社協主催「地区社協意見交換会」(会長、福祉推進員)
平成30年		
1	10	区長にて、三世代の助成金支給、3月度理事会日程の相談
	19	友愛訪問の対象者調査依頼
	20	福祉講演会(支え合い活動についての学習会)38名参加
2	13	市社協、会長・福祉推進員合同会議
	24	民生委員児童委員により、友愛訪問開始(寝たきり・認知症の方々、26名)
3	1	会計監査(中間)
	2	第4回委員会
	7	第3回鵜一地区社協理事会(ジョイガーデン)
	16	鵜一地区社協だより(第48号)編集会議
	21	区長会議において、新年度区長へ挨拶並びに新年度役員名簿提出依頼
	31	会計監査

## 平成30年度予定

- ・地区社協総会(鵜沼福祉センター)  
平成30年5月12日(土) 10:00～
- ・各務原市社協主催近隣ケアグループ全体研修会(市民会館)  
平成30年5月19日(土) 10:00～

## 平成29年度 鵜沼第一地区社会福祉協議会 会計決算(案) (平成30年3月31日現在)

収入の部 (単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
地区社協交付金	400,000	402,000	2,000	
メニュー事業助成金	755,000	748,684	-6,316	
会費趣旨説明会	18,000	6,065	-11,935	実費、お茶
近隣ケアグループ研修会	30,000	30,000	-	定額
ボランティアハウス事業	252,000	264,000	12,000	
地域の困りごと調査(アンケート)	5,000	5,850	850	@50円×117名分
福祉座談会	10,000	2,021	-7,979	実費、お茶
福祉の人材発掘事業	10,000	4,042	-5,958	実費、お茶
機関誌の発行	180,000	177,106	-2,894	年2回
ふれあい交流事業	150,000	159,600	9,600	招待者集金分を含む
赤い羽根共同募金事業	100,000	100,000	-	上限
地区社協活動推進助成金	30,000	30,000	-	
雑収入	5,467	3	-5,464	貯金利息
前年度繰越金	502,533	502,533	-	
収入合計	1,693,000	1,683,220	-9,780	

支出の部 (単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
事務費	105,000	109,751	4,751	
会議費	55,000	59,232	4,232	
事務費	20,000	20,519	519	文具、振込手数料
地区社協活動推進助成金	30,000	30,000	-	役員実費弁償
メニュー事業費	885,000	888,364	3,364	
会費趣旨説明会(新)	18,000	6,065	-11,935	総会、お茶
近隣ケアグループ研修会	30,000	6,065	-23,935	お茶
ボランティアハウス事業	252,000	264,000	12,000	
地域の困りごと調査(アンケート)	5,000	-	-5,000	(アンケート実施)
福祉座談会	20,000	2,021	-17,979	お茶、「黄金」反省会
福祉の人材発掘事業	20,000	4,042	-15,958	お茶、福祉講演会
機関誌の発行	180,000	177,106	-2,894	地区だより46、47号
ふれあい交流事業	260,000	333,065	73,065	親子、「黄金」
赤い羽根共同募金事業	100,000	96,000	-4,000	3世代ふれあい
その他の事業費	87,000	88,289	-1,289	
友愛訪問事業	40,000	36,109	-3,891	年間2回
暑中見舞い、年賀状送付事業	47,000	52,180	5,180	ハガキ代
助成金支出	110,000	110,000	-	
青少年育成市民会議	60,000	60,000	-	
体育振興会	50,000	50,000	-	
予備費	506,000	-	-506,000	
支出合計	1,693,000	1,196,404	-496,596	

## 次年度繰越金 (単位:円)

	(収入)	(支出)	(残高)	
収支差額	1,683,220	1,196,404	486,816	次年度繰越金

※総会承認前につき(案)となっております。

### 三世代ふれあい広場 (交流会)

11月~12月

~お年寄りは益々お元気に、子どもたちは新たな知識を~

各地区で恒例の「三世代ふれあい広場 (交流会)」が開催されました。お年寄りから幼児まで、楽しいひとときを過ごしながら、参加者がお互いに学び、理解を深め合えるような交流ができました。

とときを過ごしながら、参加者がお互いに学び、理解を深め合えるような交流ができました。



羽場町：豚汁、グラウンドゴルフ



西町：ふれあい餅つき大会



南町：餅つき、芋煮、クリスマスリース作り



古市場町：クリスマス会



小伊木町：三世代ふれあいクリスマス会



丸子町：花餅作り

### 友愛訪問

2月

自宅で介護を受けておられる方々へ、心ばかりのお見舞いの品を、民生委員児童委員の皆さんがお届けしました。



### 友愛年賀状

12月

冬休み前に、鵜沼第一小学校の高学年の皆さんが、地域の高齢者の方々へ心を込めて年賀状 (総数450枚) を書いてくれました。受け取られた方々は、元気を受けていただけたことと思います。



### 平成29年度末の理事会が開催されました。 3月

- 開催日/平成30年3月7日 (火) 午後7時~午後8時
- 場 所/ジョイガーデン (古市場町)
- 議 題/平成29年度 年間事業報告書、会計中間決算書  
→承認されました
- ・今年度の事業の反省
- ・来年度に向けての改善について



### 黄金を祝う会

11/4 (土)

~歌って、笑って、いつまでも若く~

11月に入った最初の土曜日に「生きがいセンター稲田園」で、恒例の「黄金を祝う会」を開催し、ご招待者と役員さん合わせて130名ほどの皆さんに「歌って、笑って」楽しんでいただきました。

午前は「歌うたいのズボさん」の、各務原の歴史話に歌を交えたクラシックギターによる弾き語り、「茂益亭蝶代さん」の落語と全員参加の笑いヨガを楽し

み、お昼を挟んで午後は「マーマーズさん」の生バンド演奏と一緒に歌い、最後はビンゴゲームで盛り上がり、あっという間の4時間となりました。来年もお元気にお会いしましょう。

各地区の役員さん、近隣ケアグループ、民生委員児童委員、稲田園の皆さん、ご協力ありがとうございました。



### 福祉座談会 11/12 (日)

~ふれあい交流会の充実に向けて~

各地区の役員、近隣ケアグループ代表、民生委員児童委員の皆さんにより、「黄金を祝う会」の反省点と今後の地区社協活動について話し合っていました。貴重なご意見をありがとうございました。新年度の運営に生かしていきたいと思えます。



### ういちおもしろ体験講座 11/11 (土)

~豊かな体験活動を通して~

今年度も鵜沼第一小学校では、児童の皆さんの「豊かな体験活動を通して、自ら考え、主体的に判断し、行動しようとする態度を養う」をねらいとして、18講座が開催されました。民生委員児童委員、主任児童委員の皆さんも講師として「紙飛行機」と「バルーンアート」に参加させていただきました。



### 福祉講演会

1/20 (土)

~地域の支え合い体制づくりに向けて~

団塊の世代が75歳以上となる2025年には、少子化と人口減少により支援の必要な高齢者を支える担い手が少なくなります。この状況を見据えて、各務原市社会福祉協議会の土屋さんに講師となつていただき、住み慣れた家や地域で安心して暮らし続けられるよう、「地域で支え合う仕組みづくり=地域づくり」についての学習会を開催しました。

